

令和3年度(2021年度)

管理事業名	都市交流事業				総合計画の体系	大綱 7 都市魅力部 政策 2 文化・スポーツに親しめるまちづくり 施策 1 文化の振興
主な歳出予算科目	一般会計	(款) 2	総務費	(項) 1	総務管理費	(目) 26 都市交流費
部局名	都市魅力部	予算執行所屬	文化スポーツ推進室			
予算大事業名	都市交流事業					
事業の目的と概要		上記以外の歳出予算科目及び予算大事業名				
<p>【目的】 フレンドシップ協定を締結した国内の6市町との間で、住民相互交流を行います。また、海外友好都市等との交流の促進を行い、市民の国際感覚を養うとともに、在住外国籍市民が地域で生活するための支援を行い、多文化共生を推進します。</p> <p>【概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フレンドシップ協定を締結した国内の6市町との市民の交流を促進 ・海外友好都市及び諸外国からの訪問団の受入れ等を実施し、相互の交流を促進 ・外国籍市民のための行政通訳窓口同行事業を実施し、外国籍市民が生活するうえで必要な行政手続等を支援 ・在住外国籍市民のための日本語教室事業を実施し、日本語の基礎を学ぶ機会を提供するとともに必要な支援を実施 						

I 事業の成果(実績)

指標名	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	成果指標の定義
多文化共生推進事業利用者数	人	68	42	52	外国籍市民のための行政通訳窓口同行事業の利用者数
多文化共生推進にかかる主催事業への参加人数	人	1,625	940	1,375	在住外国籍市民のための日本語教室への延べ参加者数
成果の説明	<p>「外国籍市民のための行政通訳窓口同行事業」については、タイ語とベトナム語の2か国語を追加し、対応言語の拡充を行いました。行政窓口での手続きや相談での利用に加え、令和3年度は、教育や保育の現場での活用も増えたため、件数が増加しました。</p> <p>「在住外国籍市民のための日本語教室」については、新型コロナウイルス感染症の影響で、年度当初と夏季期間はオンラインにて実施しましたが、オンラインで会話練習を中心とした講座を行う等、対象者や形態を変えて事業を継続したため、参加者数が増加しました。</p>				

II 財務情報

◆行政コスト計算書 (単位:千円)

勘定科目	令和元年度	令和2年度 A	令和3年度 B	差額 B-A
地方税	-	-	-	-
分担金及び負担金	-	-	-	-
使用料及び手数料	-	-	-	-
国庫支出金(経常費用充当)	-	-	615	615
府支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
財産収入	-	-	-	-
寄附金	-	-	-	-
他会計からの繰入金	-	-	-	-
受取利息及び配当金	-	-	-	-
その他	2,916	2,823	2,854	31
経常収入 小計(a)	2,916	2,823	3,469	646
給与関係費	14,476	14,296	14,220	△75
物件費	9,943	8,297	11,701	3,403
維持補修費	-	-	-	-
社会保障扶助費	-	-	-	-
負担金・補助金・交付金等	8,109	8,000	8,000	-
特別会計への繰出金	-	-	-	-
減価償却費	1,229	1,229	1,229	-
徴収不能引当金繰入額	-	-	-	-
賞与引当金繰入額	1,318	1,315	1,159	△156
退職手当引当金繰入額	319	579	712	133
支払利息	2,378	2,186	2,000	△186
その他	-	-	-	-
経常費用 小計(b)	37,772	35,902	39,021	3,119
経常収支差額(a)-(b)=(c)	△34,856	△33,079	△35,552	△2,473
特別収入	-	-	-	-
固定資産売却益	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別収入 小計(d)	-	-	-	-
特別費用	-	-	-	-
固定資産除売却損	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別支出 小計(e)	-	-	-	-
特別収支差額(d)-(e)=(f)	-	-	-	-
一般財源調整額(g)	-	-	-	-
当期収支差額(c)+(f)+(g)	△34,856	△33,079	△35,552	△2,473
一般財源充当額	43,820	41,815	44,118	2,303
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
再計	8,964	8,737	8,566	△171

行政コスト計算書の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	決算額の主な内容
国庫支出金	文化芸術振興費補助金「地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業補助金」による615千円の増
物件費	くらしのガイドブック作成による委託料1,198千円の増、千里ニュータウンプラザ国際交流協会に係るPFIサービス購入料1,941千円の増

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表 (単位:千円)

区分	令和元年度	令和2年度 A	令和3年度 B	差額 B-A
行政サービス活動収入	2,916	2,823	3,469	646
行政サービス活動支出	37,372	35,265	38,214	2,949
行政サービス活動収支差額	△34,456	△32,442	△34,745	△2,303
投資活動収入	-	-	-	-
投資活動支出	-	-	-	-
投資活動収支差額	-	-	-	-
財務活動収入	-	-	-	-
財務活動支出	9,364	9,373	9,373	△0
財務活動収支差額	△9,364	△9,373	△9,373	0
収支差額 合計	△43,820	△41,815	△44,118	△2,303
一般財源充当額	43,820	41,815	44,118	2,303
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

キャッシュ・フロー収支差額集計表の特徴的な事項

決算額の主な内容	特徴的な事項
行政サービス活動収入	地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業補助金615千円
財務活動支出	千里ニュータウンプラザ国際交流協会に係るPFI返済債務11,365千円

◆単位あたりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」を「実績」で割って円単位で算出しています。)

指標名	年度	実績	単位あたりコスト	分析内容(前年度との増減理由)
市民1人あたりのコスト	令和元年度	373,978 人	101 円	令和4年3月31日現在の吹田市人口で算出し、市民1人あたり103円のコストがかかっています。
	令和2年度	376,944 人	95 円	
	令和3年度	378,781 人	103 円	

◆貸借対照表

(単位:千円)

勘定科目	令和2年度末 A	令和3年度末 B	差額 B-A	勘定科目	令和2年度末 A	令和3年度末 B	差額 B-A
現金預金	-	-	-	流動負債	10,688	10,532	△156
未収金	-	-	-	地方債	9	9	-
財政調整基金	-	-	-	短期借入金	-	-	-
短期貸付金	-	-	-	賞与引当金	1,315	1,159	△156
徴収不能引当金	-	-	-	未払金	-	-	-
その他流動資産	-	-	-	リース債務	-	-	-
有形固定資産	50,691	49,462	△1,229	その他流動負債	9,364	9,364	-
土地	-	-	-	固定負債	105,570	95,931	△9,639
建物・工作物	50,691	49,462	△1,229	地方債	63	54	△9
リース資産	-	-	-	長期借入金	-	-	-
建設仮勘定	-	-	-	退職手当引当金	11,865	11,599	△266
無形固定資産	-	-	-	リース債務	-	-	-
有形固定資産	-	-	-	その他固定負債	93,642	84,278	△9,364
土地	-	-	-	負債の部合計	116,258	106,463	△9,795
建物・工作物	-	-	-	純資産	134,433	142,999	8,566
建設仮勘定	-	-	-	重要物品	-	-	-
重要物品	-	-	-	図書館資料	-	-	-
図書館資料	-	-	-	投資その他の資産	200,000	200,000	-
投資その他の資産	200,000	200,000	-	出資金	200,000	200,000	-
出資金	200,000	200,000	-	長期貸付金	-	-	-
長期貸付金	-	-	-	基金	-	-	-
基金	-	-	-	徴収不能引当金	-	-	-
徴収不能引当金	-	-	-	その他債権	-	-	-
その他債権	-	-	-	資産の部合計	250,691	249,462	△1,229
資産の部合計	250,691	249,462	△1,229	負債及び純資産の部合計	250,691	249,462	△1,229

III 財務構造分析

▽人にかかるコストの内訳

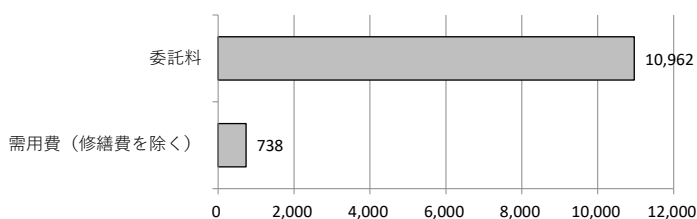
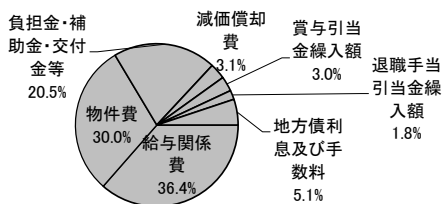
事業従事人数	常勤・再任用 月平均	会計年度任用等 年間従事延日数	特別職非常勤 年間従事延日数	合計(千円)
2人	2人			16,092
給与関係費等	16,092千円			16,092
内、時間外勤務手当	0千円			

貸借対照表の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	増減理由
建物・工作物	千里ニュータウンプラザ国際交流協会分に係る減価償却による1,229千円の減
その他固定負債	千里ニュータウンプラザ国際交流協会分に係るPFI返済債務による9,364千円の減

▽経常費用の構成割合

物件費の内訳(単位:千円)



▽施設の概況

施設の名称	吹田市国際交流協会 (千里ニュータウンプラザ内)
取得年月日	平成24年(2012年)6月30日
建物・工作物の取得価額	61,444千円
建物・工作物の減価償却累計額	11,982千円
利用料金収入	-千円

▽分析指標

分析指標	(単位:%)				
	年度	令和元年度	令和2年度 A	令和3年度 B	差 B-A
施設維持補修費比率	-	-	-	-	-
施設老朽化比率	15.5	17.5	19.5	2.0	
受益者負担比率	-	-	-	-	-
徴収不能引当率	-	-	-	-	-
一般財源充当比率	93.8	93.7	92.7	△1.0	
経常費用対公共資産比率	61.5	58.4	63.5	5.1	

【参考:市保有施設全体の老朽化比率は57.6%】

IV 総括

▽分析結果の説明

国際交流や多文化共生社会の確立を図るための拠点として、千里ニュータウンプラザ内の施設を(公財)吹田市国際交流協会に貸与し、「外国籍市民のための行政通訳同行事業」や、日本語を学びながら日本の文化や生活習慣などを知るための「在住外国籍市民のための日本語教室」を実施しています。

▽分析結果を踏まえた事業の課題

都市交流については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、人の動きを伴う交流事業は国内外ともに実施できませんでしたが、ホームページで国内の友好交流都市を紹介するなどインターネットを活用した取組を行いました。今後は、これまでの直接触れ合う交流だけでなく、ソーシャルネットワークサービス(SNS)等を活用した交流を進める必要があります。

市内の外国籍市民が増加し、様々な国籍の市民が居住する中、「外国籍市民のための行政通訳窓口同行事業」では、令和3年度から、タイ語とベトナム語の2か国語を追加し、合計5か国語の通訳が可能となりました。今後も対応言語をより一層充実させていく必要があります。

また、「在住外国籍市民のための日本語教室」についても、日本語を学びながら日本の生活習慣等を知るだけでなく、支援が必要な外国籍市民等とつながるきっかけとなるなど、重要な役割を担っており、一層の充実が必要です。

今後、外国籍市民に対して、生活するうえでの困りごとをワンストップで相談できる窓口の設置を予定しているため、他の事業との連携についても検討していきます。